



奈企第1409号の2  
平成28年12月 日

奈良県地域振興部地域政策課長 様

奈良市公営企業管理者  
池田 修  
(公印省略)

奈良県上水道エリアにおける広域化に係るアンケート調査及び水道施設の  
情報提供について (回答)

平成28年11月14日付け事務連絡にて依頼がありましたこのことについて、別紙の  
とおり回答いたします。

**【担当】**

奈良市企業局経営部

経営管理課 経営係 関森、芦谷

電 話 : 0742-34-5200 内線 282

e-mail : [suidou-keieikanri@city.nara.lg.jp](mailto:suidou-keieikanri@city.nara.lg.jp)

(3)広域化の形態(垂直統合、水平統合、施設共同化・管理の一体化等)について

問35. 広域化を導入する際、望ましいと思われる形態を一つ選んでください。

- |                                     |                                      |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/>            | a 県営水道との統合(垂直統合)                     |
| <input type="checkbox"/>            | b 他の末端事業者との統合(水平統合)を経て県営水道との統合(垂直統合) |
| <input type="checkbox"/>            | c 他の末端事業者との統合(水平統合)のみ                |
| <input checked="" type="checkbox"/> | d 統合ではなく、施設の共同化または第三者委託制度の活用等管理の一体化  |
| <input type="checkbox"/>            | e その他                                |

問36. 問35で選んだ選択肢について、その理由及び具体的な内容を記入してください。

選択肢記号	理由及び具体的な内容
d	市町村間での水融通を行うために大規模な施設整備が必要となることや料金格差の問題など、現状において事業統合を行うには課題が多い。まずは、施設の共同化や管理の一体化などゆるやかな広域化の検討を行い、より多くのメリットが想定される場合は事業統合を行うべきであるとする。

問37. 問35で a、b、cのいずれかを選んだ場合は、想定される統合の時期及びその理由を記入してください。

選択肢記号	統合の時期及びその理由

問38. 問35で a、b、cのいずれかを選んだ場合、水平統合、垂直統合別に貴事業体において期待するメリットについて、下記から選んでください。(A欄に回答(複数回答可)。また、その中からメリットが大きいと思われるものを選び(複数回答可)、B欄にその順位を記入してください。

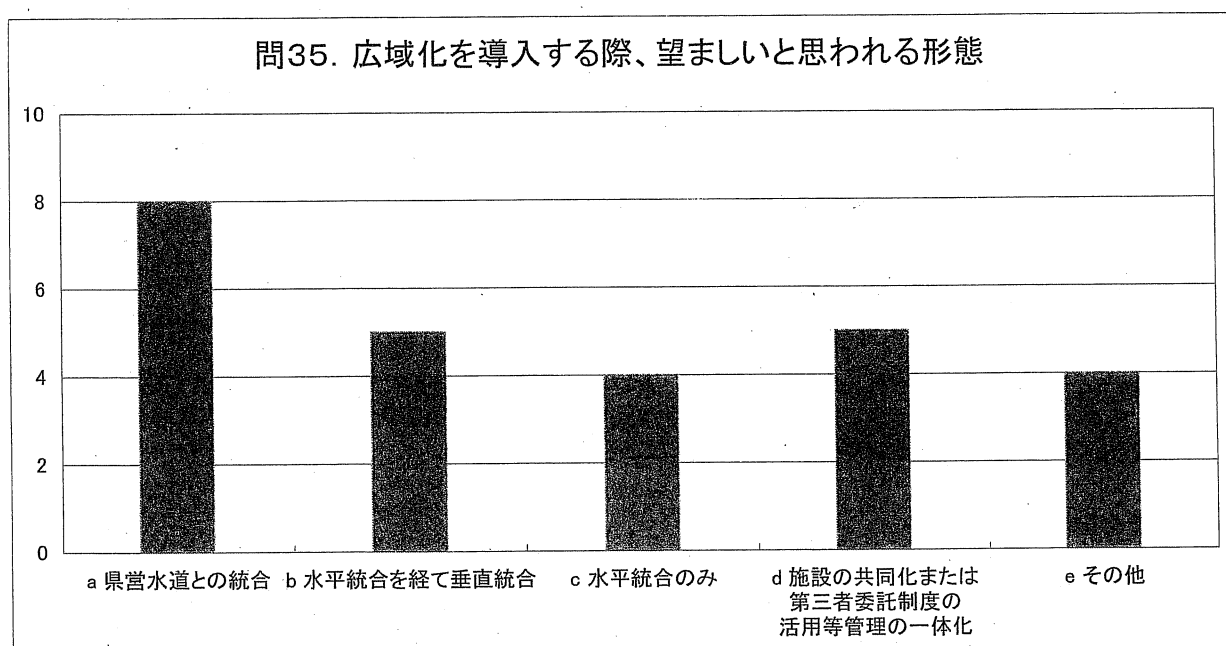
《水平統合の場合》

A欄 B欄

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	a(経営面)財政基盤の強化
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	b(経営面)建設投資の効率化やシステムの共同化、組織体制の合理化によるコスト縮減
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	c(施設面)施設の更新等の効率的な実施
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	d(施設面)施設整備レベルの向上
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	e(維持管理面)人材不足等への対応等組織体制の充実
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	f(維持管理面)維持管理レベルの向上
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	g(維持管理面)水質、設備等の専門技術者の確保
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	h(給水サービス)料金格差是正
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	i(給水サービス)安定給水の確保
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	j(給水サービス)非常時の給水体制の強化
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	k その他

## 問35. 広域化を導入する際、望ましいと思われる形態

a 県営水道との統合	8	高田、天理、五條、生駒、王寺、河合、下市、宇陀
b 水平統合を経て垂直統合	5	御所、高取、明日香、吉野、田原本
c 水平統合のみ	4	葛城、川西、三宅、上牧
d 施設の共同化または 第三者委託制度の 活用等管理の一体化	5	奈良、桜井、三郷、安堵、広陵
e その他	4	郡山、橿原、香芝、斑鳩
合計	26	



## 問36. 問37. 一 広域化を導入する際、望ましいと思われる形態の理由及び具体的内容

## a 県営水道との統合（垂直統合）【8事業体】

- ・スケールメリット，自己水源の水質悪化や濁水等の懸念解消，財政面 等から(天理市)
- ・県営水道による一元管理がコスト等の面で一番望ましい(王寺町)
- ・利益の再配分を行いながら県営水道として統一されるのが理想的(下市町)
- ・末端事業者の水平統合のハードルの高さ(河合町)

## ※統合時期

- ・わからないとした事業体が過半。20年以内(生駒市)，平成35年後(宇陀市)

奈良県水道局の資料  
市町村のアナウンス結果を集約したもの